

編集後記

私は、学位取得後、ドイツのマックスプランク研究所と研究所からのスタートアップ企業において研究する機会に恵まれ、2017年4月から産業技術総合研究所にてプラズマ医療などの研究を行っています。ドイツ滞在中は、当たり前ですがドイツ語と英語を使ってコミュニケーションをとります。最初のうちは、ドイツ語や英語を用いた「読み書き」も「聞く話す」も常に後頭部が重たい感じがしたのですが、しばらくたって慣れてくると頭痛はだいぶましになり、例えば、電車に乗っている際の周りの話し声もただのホワイトノイズから意味のわかる騒音になってきます。その代わりに、ドイツ滞在中に日本語を使う機会は、日本人の友人・知人と話すときやメールを書くくらいに限られていました。日本に戻った後、申請書や報告書など様々な日本語書類

を書く必要に迫られるのですが、10年を超えるドイツ滞在中に日本語をあまり真面目に使っていなかった結果、変な日本語しか書けないことに（ようやく）気が付きました。日本語は文法的には語順の自由度が高いので、何とか書くことは可能ですが、誤解を与えないように厳密に書こうとすると筆が止まります。もともと文章を書くのが苦手、初めて長い文章を書くことを教えていただいたのは大学の研究室でした。その当時は、多少ましな日本語を書くことができると思っていたのですが、その後ほとんど使わなくなった結果、日ごろから使っていないものはダメになるということを実感することになります。現在、なるべく多くの書籍を読んで、少しでもましな文章を書くように心がけています。日本語を書く上で何か良い本があれば、紹介していただけると嬉しいです。（清水鉄司）

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：森 雅博
副 会 長：安藤 晃（推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長） 竹入康彦（推薦委員長：学会賞，研究部会連絡会委員長）
常務理事：下妻 隆（総務委員長）
理 事：荒巻光利（編集委員長） 出射 浩 大勢持光一 大野哲靖
金子俊郎 木戸修一（財務委員長） 小西哲之 齊藤輝雄
篠原孝司（広報委員長） 神野雅文 中井光男（年会運営委員長，企画委員長）
渡邊隆行（企業展示検討委員長，支部・地区研究連絡委員長） 横峯健彦 和田 元
監 事：中村圭二，前田達志

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 渡邊隆行 核融合プラズマ 大野哲靖 プラズマ炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利(日大) 副委員長：出射 浩(九大)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，城崎知至(広島大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：池添竜也(九大)，今寺賢志(京大)，岩田夏弥(阪大)，上野一磨(中京大)，大谷芳明(量研)，小川大輔(中部大)，
呉 準席(大阪市大)，小柳津 誠(量研)，加藤雄人(東北大)，河村学思(核融合研)，小林 真(核融合研)，小林政弘
(核融合研)，近藤康太郎(量研)，齋藤誠紀(山形大)，齋藤晴彦(東大)，柴田崇統(高エネ研)，清水鉄司(産総研)，
竹田圭吾(名城大)，田中宏彦(名大)，中村浩隆(阪大)，水口直紀(核融合研)，向井啓祐(京大)，本村大成(産総研)，
森田太智(九大)，森高外征雄(核融合研)，山田大将(長野高専)，安原 亮(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第3号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2021年(令和3年)3月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。